

私達の財団

第49号

令和 8 年 10 月 1 日

(一財)栃木県民間社会福祉
施設職員退職手当共済財団

印刷 松井ビ・テ・オ・印刷



いよいよ今年も紅葉のシーズンになりました。日本各地に紅葉の名所がありますが、紅葉の三大名所と呼ばれるのが、日光、京都、そして大分の耶馬溪だそうです。皆さまも一度は日光の中禅寺湖や湯ノ湖、いろは坂、東照宮近辺の美しい紅葉をご覧になったことがあると思います。ただ、ここ数年は猛暑の影響でもみじが紅く染まらなかったり、台風の影響によって紅葉する前に落葉してしまったりと、なかなか本来の美しい紅葉が見られない年が続いています。今年こそ美しい紅葉が楽しめることを期待したいものです。

写真は、半月山の頂上から撮影したものです。麓辺りの湖畔には今は別荘として使われていませんが、観光施設になっているイギリス大使館やイタリア大使館の別荘があります。また少し離れますが、同じく湖畔にフランス大使館とベルギー大使館の別荘があります。ただし、こちらは現在も大使館職員が実際に利用している別荘なので、通常は見学することはできませんが、ベルギー大使館は今年7月3日から5日までの3日間、特別公開がありました。

<https://tochi-kyousai.or.jp/disk/kouhou/>

ホームページをご覧ください！

- ・本誌の内容もホームページに掲示する予定です
- ・来年1月には後期版の機関誌を作成し、ホームページのみ公開する予定です





私達の財団の現状について

理事長 湯澤 洋子

退職手当共済財団ご加入の皆さま並びに関係者の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃から共済財団の運営に対しまして何かとご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

退職手当共済財団は、昭和46(1971)年の創設以来55年間にわたり、社会福祉事業に従事する人材の確保、ひいては民間社会福祉事業の安定化に寄与してきたと確信しているところです。

さて、ここ1年間の金融環境は、内外の株式市場が昨年半ば頃からAI関連企業が牽引する形で活況を呈し、今年7月には日経平均が7万2,000円台と最高値を更新しました。その後は、米国とイランが停戦に至らないため原油価格高騰などの影響が懸念され、6万5,000円近辺に留まっています。

一方、国内金利は、日銀のマイナス金利政策解除以降、徐々に上昇していて、最近の国内債券市場は、10年物国債の利回りが3.0%に上昇と、30年ぶりの高水準になっています。また、ドル円の為替の方は、円安が進行していて物価上昇等の悪影響を与えています。財団の資産運用もこれらの影響を受けていますが、今のところプラス効果になっていますので、ご安心いただきたいと思います。

続いて、令和7(2025)年度の事業概要についてご報告いたします。

- ◆加入者の状況ですが、昨年度は制度改定を実施したことで、13,831名と前年比141名増加しました
- ◆掛金収入の状況ですが、19億4,500万円と前年比6,366万円増加しました
- ◆一方、退職手当給付金は、1,586名の退職者の方々に総額13億5,300万円を支給しました
前年と比較しますと27名減少、金額で6,961万円減少しています
- ◆積立資産の充足率ですが、昨年度の制度改定により退職金の給付率を引き上げましたので、「退職金要支給額」は194億7,300万円と前年比28億6,900万円増加しました
それに対する積立資産の充足率は、131.82%と前年比12.64%減少しましたが、安定的な水準を維持しています

続いて、令和7(2025)年度の積立資産の運用状況についてご報告いたします。

- ◆令和7(2025)年度の運用は、国内債券の金利上昇で過去に購入した国内債券のファンドの含み損が拡大しましたが、前述のとおり日米ともにAI関連企業が牽引した株価上昇や円安効果による評価益の拡大がカバーして全体的には好調な結果となりました
- ◆退職手当積立金は、年間5億2,000万円を新規に積み立てたほか好調なマーケット環境の影響を受け、積立資産の時価評価額は252億3,900万円と、前年比16億4,100万円増加しました
- ◆昨年度の総合収益累計額は、11億4,200万円、修正総合収益率で通期4.79%と目標値の2.0%を大きく上回りました
- ◆「退職共済小委員会」(資産運用等を検討する役員会)を定期開催し、毎回、信託銀行2行から資産運用状況と見通しを聴取し、積立資産が、当財団が定める長期的資産構成割合(基本ポートフォリオ)に基づきかつ修正総合収益率が、ベンチマークに沿った状況で運用されていることを確認しています
- ◆積立資産の運用は、信託銀行2行への年金信託100%となっています
令和8年3月末の運用比率は、三菱UFJ信託銀行65.2%、三井住友信託銀行34.8%です

結びに、当共済財団としましては、皆さまからお預かりしました共済掛金を安全第一に運用し、退職共済制度が長期的に安定した制度として維持できるよう、今後とも鋭意努力してまいります。

I 令和7（2025）年度事業実績と収支決算の概要

令和7（2025）年度事業実績

1 施設の種別別契約施設数及び加入者数

(単位：所・人)

施設の種別		契約施設数	職員数
保 護 施 設		2	27
児 童 福 祉 施 設	保 育 所	198	3,371
	そ の 他	30	589
老人福祉介護保健施設		240	6,512
その他の社会福祉施設		3	21
障 害 福 祉 施 設		194	3,311
計		667	13,831

2 施設数及び加入者数の推移

(単位：所・人)

年 度 区 分	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度
施設数	688	675	677	683	667
(前年比)	6	△13	2	6	△16
加入者数	13,979	13,820	13,776	13,690	13,831
(前年比)	6	△159	△44	△86	141

3 掛金収入の状況

(単位：千円)

年 度 区 分	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度
金 額	1,868,795	1,864,558	1,857,774	1,881,487	1,945,144
(前年比)	24,470	△4,237	△6,784	23,713	63,657

4 退職手当金の支給状況

(単位：人・千円)

年 度 区 分	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度
人 員	1,582	1,611	1,637	1,613	1,586
(前年比)	125	29	26	△24	△27
金 額	1,153,488	1,228,302	1,196,690	1,423,169	1,353,554
(前年比)	136,028	74,814	△31,612	226,479	△69,615

5 退職積立金（基金）の状況

(単位：千円)

年 度 区 分	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度
積立増減額	1,176,742	411,613	2,795,074	△225,210	1,640,385
(うち運用収入)	129,027	71,413	540,570	370,842	615,663
累 計	20,619,965	21,031,578	23,826,652	23,601,442	25,241,827

I 令和7（2025）年度事業実績と収支決算の概要

令和7（2025）年度 収支決算の概要

◆ 貸 借 対 照 表 ◆

令和8（2026）年3月31日現在

（単位：円）

借 方（資 産）		貸 方（負 債・正味財産）	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	4,390,294	流 動 負 債	2,354,210
現金預金	4,390,294	未払金	1,431,850
固 定 資 産	25,679,908,164	未払法人税等	81,400
基 本 財 産	134,000	預り金	195,664
定期預金	134,000	賞与引当金	645,296
特 定 資 産	25,672,011,673	固 定 負 債	25,668,746,673
共済事業引当資産	25,670,719,173	共済事業預り金	25,667,454,173
職員退職給付引当資産	1,292,500	職員退職給付引当金	1,292,500
その他の固定資産	7,762,491	正 味 財 産	13,197,575
什器備品	682,462	指定正味財産	3,399,000
電話加入権	81,517	寄付金	3,399,000
ソフトウェア	6,689,742	一般正味財産	9,798,575
その他固定資産	308,770		
合 計	25,684,298,458	合 計	25,684,298,458

◆正味財産増減計算書◆

令和8（2026）年3月31日現在

（単位：円）

	科 目	退職共済事業	法人会計	合 計
一般正味財産	基本財産運用益	2	0	2
	特定資産運用益	405,476	696	406,172
	事業収益	15,698,736	12,557,579	28,256,315
	雑収益	0	102,795	102,795
	経常収益計	16,104,214	12,661,070	28,765,284
	事業費	16,025,953	0	16,025,953
	管理費	0	12,604,125	12,604,125
	経常費用計	16,025,953	12,604,125	28,630,078
	当期経常増減額	78,261	56,945	135,206
	当期経常外増減額	0	0	0
	法人税、住民税及び事業税	62,202	81,400	143,602
	当期一般正味財産増減額	△8,396	0	△8,396
指定正味財産	一般正味財産期首残高	9,132,679	674,292	9,806,971
	一般正味財産期末残高	9,124,283	674,292	9,798,575
	基本財産運用益	2	0	2
	特定資産運用益	8,162	0	8,162
	一般正味財産への振替額	8,164	0	8,164
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	3,399,000	0	3,399,000
指定正味財産期末残高		3,399,000	0	3,399,000
正味財産期末残高		12,523,283	674,292	13,197,575

Ⅱ 令和8(2026)年度事業計画と収支予算の概要

令和8(2026)年度 事業計画

【主な実施事業】

- 役員会等の開催
定例理事会、定時評議員会、定例監事会、小委員会等を適時開催し、適正な財団運営に努めます。
- 退職共済事業
共済掛金の収入事務および退職手当金の支給事務等を効率的かつ迅速に実施します。
- 積立資産運用の管理
委託先信託銀行からの情報収集ならびに金融経済動向の的確な判断を通じ、積立資産の運用成果の向上と安定した運用に努めます。
- 共済事務の電子化

令和8(2026)年度 収支予算

(単位：円)

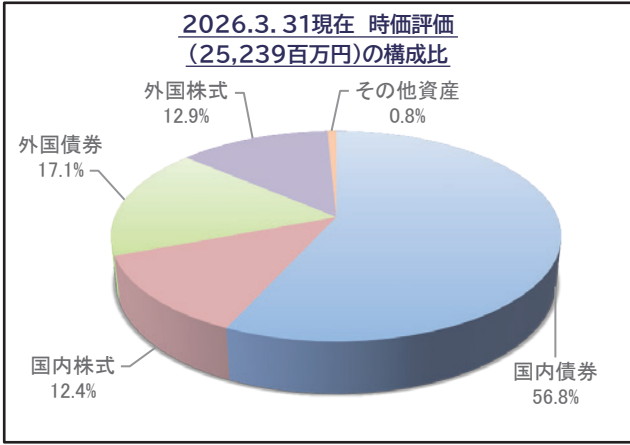
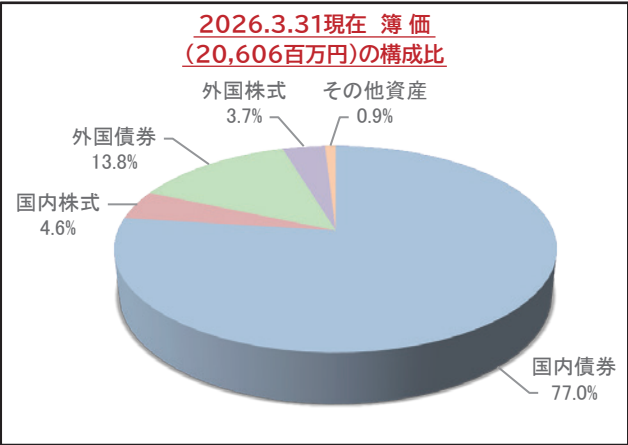
	科 目		退職共済事業	法人会計	合 計	前年度予算額
一般正味財産	経常収益	基本財産運用益	1,000	0	1,000	1,000
		特定資産運用益	340,000	0	340,000	70,000
		事業収益	117,440,000	15,390,000	132,830,000	126,318,000
		雑収益	0	0	0	282,000
		経常収益計	117,781,000	15,390,000	133,171,000	126,671,000
	経常費用	事業費	20,090,000	0	20,090,000	17,154,000
		管理費	0	15,290,000	15,290,000	12,067,000
		経常費用計	20,090,000	15,290,000	35,380,000	29,221,000
	当期経常増減額		97,691,000	100,000	97,791,000	97,450,000
	当期経常外増減額		0	0	0	0
	法人税、住民税及び事業税		0	100,000	100,000	100,000
	当期一般正味財産増減額		97,691,000	0	97,691,000	97,350,000
	一般正味財産期首残高		2,029,000	674,000	2,703,000	2,712,000
一般正味財産期末残高		99,720,000	674,000	100,394,000	100,062,000	
指定正味財産	基本財産運用益		1,000	0	1,000	1,000
	特定資産運用益		340,000	0	340,000	2,000
	一般正味財産への振替額		341,000	0	341,000	3,000
	当期指定正味財産増減額		0	0	0	0
	指定正味財産期首残高		3,399,000	0	3,399,000	3,399,000
	指定正味財産期末残高		3,399,000	0	3,399,000	3,399,000
正 味 財 産 期 末 残 高			103,119,000	674,000	103,793,000	103,461,000

Ⅲ 資産運用状況の報告

1. 令和7(2025)年度の運用実績

(単位:百万円)

運用区分	基本ポートフォリオで定める資産構成割合(時価評価)	下限値～上限値	簿価①		時価評価②		総合収益③	修正総合収益率④	ベンチマーク⑤	超過収益率⑥=④-⑤
			金額	構成割合	金額	構成割合				
国内債券	64.0%	54%～74%	15,872	77.0%	14,333	56.8%	△802	-5.6%	-5.4%	-0.2%
国内株式	9.0%	0%～19%	941	4.6%	3,133	12.4%	837	30.9%	31.6%	-0.6%
外国債券	16.0%	6%～26%	2,840	13.8%	4,324	17.1%	477	12.4%	12.7%	-0.3%
外国株式	9.0%	0%～19%	760	3.7%	3,256	12.9%	628	21.0%	22.1%	-1.1%
その他資産	2.0%	0%～12%	193	0.9%	193	0.8%	1	0.5%	0.5%	0.0%
合計	100.0%		20,606	100.0%	25,239	100.0%	1,142	4.8%	2.9%	1.9%



【語句説明】

- ①簿 価 「投資信託ファンドの取得価額」に「再投資された配当等」を加算した価額
- ②時価評価 信託銀行に預ける投資信託ファンドを時価で評価した額。「時価評価額」-「簿価額」=「評価損益」
- ③総合収益 「当期実現した損益」+「当期末の未収収益」-「前期末の未収収益」+「当期末の評価損益」-「前期末の評価損益」
- ④修正総合収益率 「総合収益額」を(「期中簿価の平均残高」+「前期末未収収益」+「前期末評価損益」)で除して算出した時価ベースの収益率
- ⑤ベンチマーク 5つの運用区分毎に設定された、投資信託等の運用指標となる共通の基準

2. 最近の金融情勢と運用状況について

◆最近の金融情勢

【国内金利】

- ・一昨年の3月、それまで8年間続いてきた「日本銀行のマイナス金利政策」が終了し、「金利のある時代」が戻ってきました
- ・長期金利の指標・10年物国債の利回りも徐々に上昇していて、9月には約30年ぶりに3.0%を超えました（1年間で約1.3%上昇）

【米国金利】

- ・米国とイランの軍事衝突再開によるインフレ懸念から米国10年国債の金利も上昇傾向にあります

【国内株式】

- ・国内株式市場は日経平均が昨年10月に5万円台に、今年6月25日に7万2千円台を付け最高値を更新しましたが、7月中旬以降は、米国とイランが停戦に至らず、日経平均は6万5千円近辺を推移しています

【米国株式】

- ・中東情勢の緊迫化がマイナスに働く一方で、AI関連企業の業績向上期待もあって、値上がり値下がり交錯しています

【為替】

- ・日米の金利差、対外投資（海外設備投資・証券投資）、輸入する原油代金上昇に伴うドル需要の増加等で円安が進んでいます

◆昨年度の運用状況

- ※株高と円安の影響で全体としては大幅なプラスの運用となりました
- ・昨年度は、AI関連企業の好業績期待から内外株式市場が上昇国内外株式のファンドは評価益が大幅に拡大し、日本株（21.9億円）、外国株（25億円）となりました
- ・外国債券も円安の進展に伴い評価額が増加し、14.8億円となりました
- ・一方、国内債券は長期金利上昇に伴い評価損が拡大したため、15.4億円の含み損が発生しましたが、他の3資産の含み益でカバーし、全体では46.3億円の含み益を計上しました

◆積立金の充実度

- ・昨年8月に実施した「将来にわたり退職金支払いに必要な額」と「積立額と今後の掛金収入」に対する比率の検証では、約104%と100%を上回っていますのでご安心ください

IV 役 員 名 簿

理 事 会

令和8年10月1日現在

職 名	氏 名	備 考
理 事 長	湯 澤 洋 子	栃木県保育協議会代表 (福) 田原福祉会 児童発達支援事業所はとぼっぽ 理事長兼施設長
副理事長	関 上 佳代子	栃木県児童養護施設等連絡協議会代表 (福) あかつき寮 施設長
常務理事	齋 藤 隆	(一財) 栃木県民間社会福祉施設職員退職手当共済財団 事務局長
理 事	浅 香 典 靖	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会代表 (福) 渡良瀬会 栃の葉荘 施設長
同	古 口 光 夫	一般社団法人 栃木県老人福祉施設協議会代表 (福) 光誠会 ケアハウスフローラ 施設長
同	岡 上 隆 史	一般社団法人 栃木県老人福祉施設協議会代表 (福) 長寿栄光会 特別養護老人ホーム宮の里 施設長
同	島 田 泰 利	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会代表 (福) とちのみ会 フロム浅沼 施設長
監 事	峯 山 敏 正	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会代表 (福) すぎなみき会 すぎなみき学園 理事長兼施設長
同	鈴 木 敏 夫	(一財) 栃木県民間社会福祉施設職員退職手当共済財団 事務局長経験者

※理事・監事任期：令和8年6月26日から令和9年定時評議員会まで

以上9名

評 議 員 会

令和8年10月1日現在

職 名	氏 名	備 考
評 議 員	伊 澤 純 一	(福) 栃木県社会福祉協議会 常務理事
同	稲野邊 樹 生	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会代表 (福) 真純乃郷福祉会 福祉サービスセンター大地 施設長
同	吉 田 由加理	一般社団法人 栃木県老人福祉施設協議会代表 (福) 百寿会 ケアハウスジョイナス長岡 理事長兼施設長
同	角 田 充 由	一般社団法人 栃木県老人福祉施設協議会代表 (福) 南都会 特別養護老人ホーム 元気の里 施設長
同	篠 原 真奈美	栃木県保育協議会代表 (福) まこと福祉会 茂呂保育園 園長
同	山 口 洋	栃木県保育協議会代表 (福) 戸祭保育園 ナーサリースクールとまつり 理事長兼園長
同	小 針 達 哉	栃木県児童養護施設等連絡協議会代表 (福) 恩賜財団済生会 栃木県済生会宇都宮乳児院 総務課主任

※評議員任期：令和8年6月23日から令和12年定時評議員会まで

以上7名

V 新規共済契約（加入）施設紹介

（令和8年1月～令和8年9月）

施 設 名	経営主体及び代表者名	所 在 地	加入者数
老人福祉センター事業 小山市ふれあい健康センター	社会福祉法人 洗心会 大 木 元	小山市大字外城	3名
指定障害児通所支援事業 はとぼっぼ	社会福祉法人 田原福祉会 湯 澤 洋 子	宇都宮市宝井町	1名
指定障害福祉サービス事業 さくら	社会福祉法人 パステル 石 橋 須見江	小山市大字乙女	3名
指定障害福祉サービス事業 ルピナス	社会福祉法人 パステル 石 橋 須見江	小山市大字乙女	2名
保育所 東浦保育園	社会福祉法人 内木会 内 木 秀 雄	宇都宮市東浦町	1名
指定障害福祉サービス事業 待降寮+	社会福祉法人 エルム福祉会 川 上 健 次	大田原市紫塚	1名
指定障害福祉サービス事業 Cocoka・ra	社会福祉法人 共生の丘 森 克 己	宇都宮市飯田町	3名
保育所 こどもの森YOU保育園hohoemi館	社会福祉法人 がんばり福祉会 鈴 木 信 行	さくら市氏家	7名
合 計	8施設		21名

VI 事 務 局 通 信

★湯澤理事長が瑞宝双光章を受章

当財団理事長の湯澤洋子氏が今年春の叙勲で栄えある「瑞宝双光章」を受章されました。半世紀近く保育事業に情熱を注がれてきたことや事業団体への貢献が評価された証と言えるでしょう。

★「共済事務の電子化」について

- ・今年1月に発行した機関誌第48号でもお知らせしましたが、機能面、費用面、セキュリティ対応力などを調査し、どの会社のシステムを採用するかを決定する最終段階直前まで来ています。予定では今年の12月開催の理事会で機関決定し、早ければ1年以内に稼働開始になる見通しです。
- ・新システムでは、これまでの手書き書類の郵送によるやりとりから、各施設さんの事務所のパソコンでの送受信に移行しますので、施設のご担当者さまの事務負担がかなり軽減される予定です。

★クラシック音楽鑑賞のすすめ

芸術には様々な分野がありますが、中でも裾野が広いのは音楽ではないでしょうか。ピアノや管弦楽器を通じてクラシック音楽に触れてきた人は多いと思います。県内出身のプロの音楽家では、小澤征爾に見出された世界的チェリストの宮田大（宇都宮市）や、オペラ歌手では、天皇陛下御即位を祝う国民祭典で国歌独唱した森谷真理（小山市）も世界に誇る音楽家です。

県内にはプロの交響楽団はありませんが、1970年に宇都宮短期大学や宇都宮大学の卒業生等を中心に結成した栃木県交響楽団は、年に数回演奏会を開催しています。また宇都宮大学管弦楽団も6月と12月に定期演奏会を開催していて、今年は12月20日に宇都宮文化会館で予定されていますので、ぜひお出かけください。

音楽を通じた地方都市の魅力づくりの一環としてこれからも情報発信してまいります。